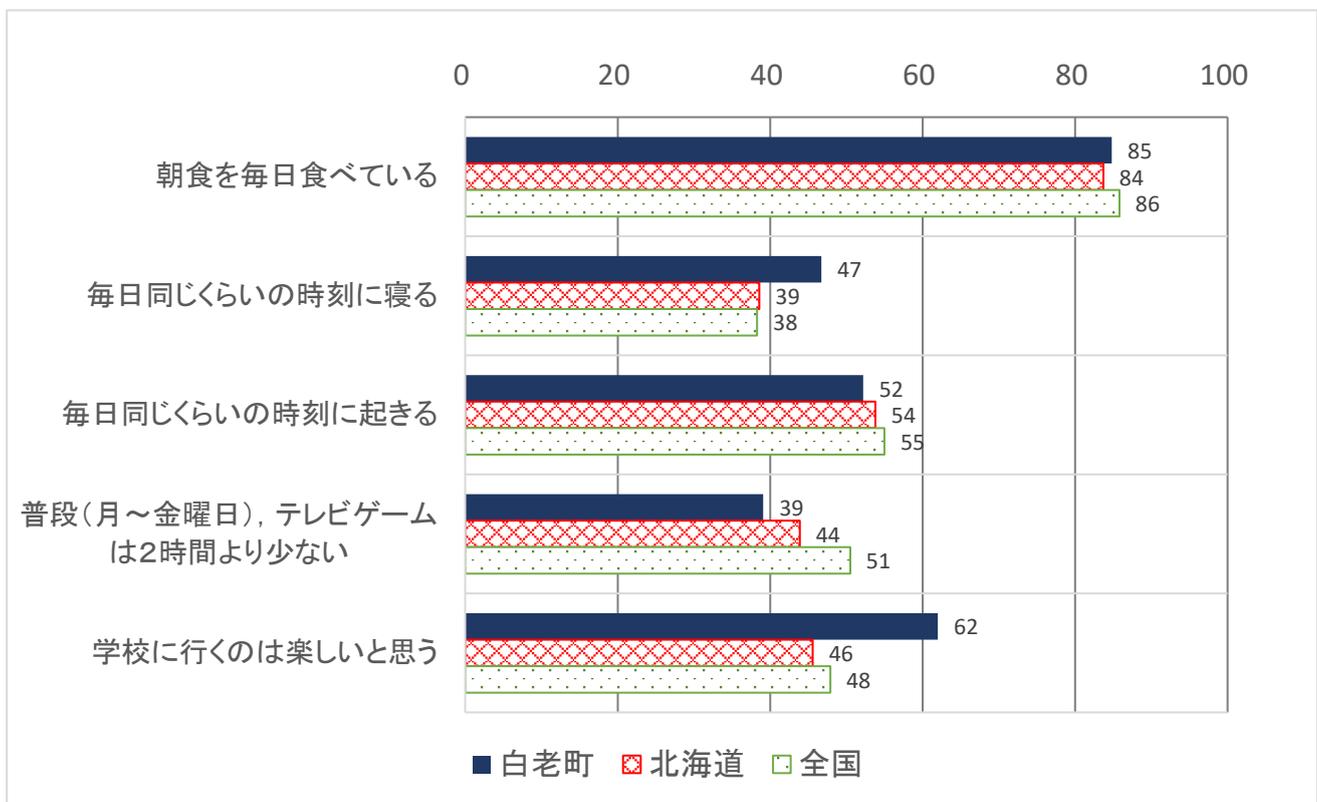


3-1. 児童質問紙調査の概況（小学校）

◇ 小学校 基本的な生活習慣 ◇

質問の内容（数値は、パーセントを表しています）

質問項目	白老町	北海道	全国
朝食を毎日食べている	85	84	86
毎日同じくらいの時刻に寝る	47	39	38
毎日同じくらいの時刻に起きる	52	54	55
普段（月～金曜日），テレビゲームは2時間より少ない	39	44	51
学校に行くのは楽しいと思う	62	46	48



（状況）

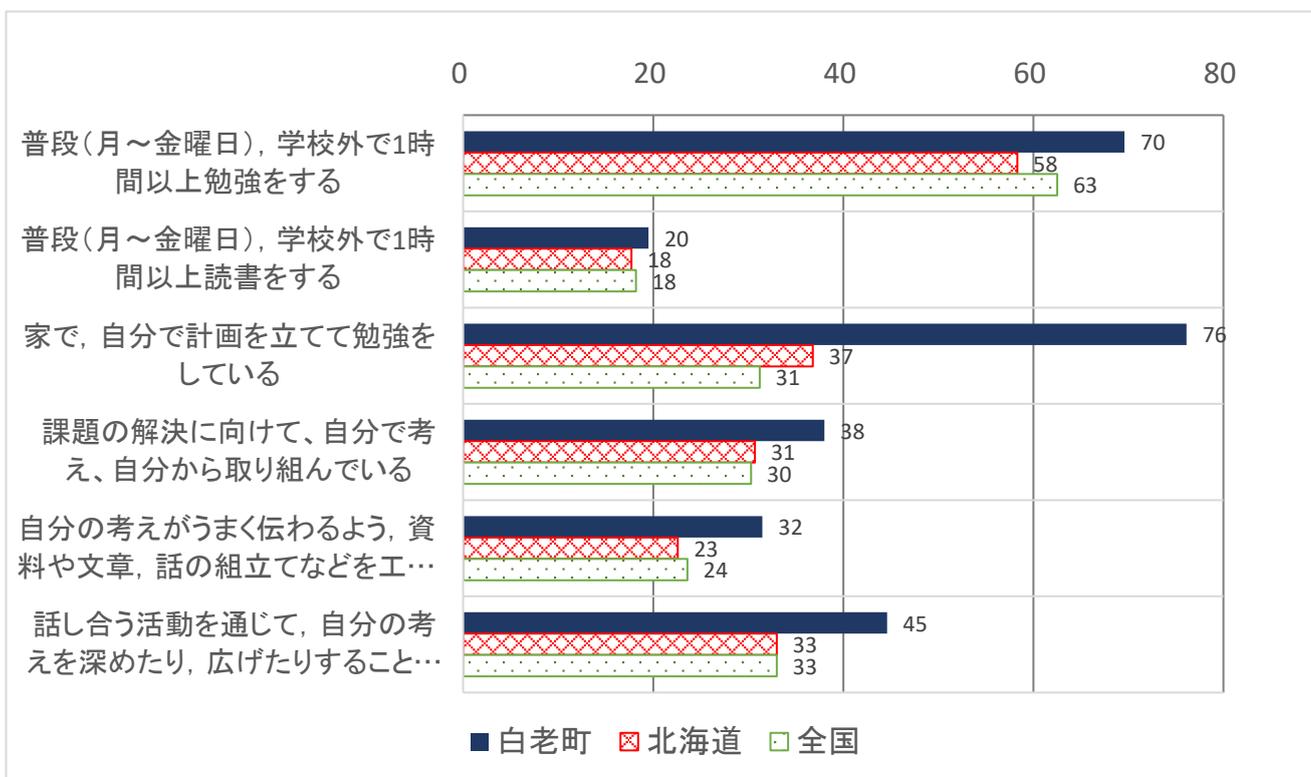
- ・ 「同じくらいの時刻に寝る」「学校に行くのは楽しい」と回答した児童の割合は、全国平均よりも極めて高い。
- ・ 「朝食を毎日食べる」「同じくらいの時刻に起きる」と回答した児童の割合は、全国平均とほぼ同様（下位）である。
- ・ 「普段、テレビゲームをする時間が2時間より少ない」と回答した児童の割合は、全国平均より極めて低い（2時間以上もテレビゲームをしている児童が極めて多い）。

- ◆ 「学校に行くのは楽しい」と思っている児童が多いことは素晴らしいことです。
- ◆ 基本的な生活習慣に関する質問は、全国平均とほぼ同様で、概ね身に付いていると言えます。
- ◆ テレビゲームを2時間以上する児童の割合が高いことが課題です。家庭での過ごし方を見直し、家族との会話やお手伝い、運動、読書などの時間を増やす必要があります。

◇ 小学校 学習時間等 ◇

質問の内容

質問項目	白老町	北海道	全国
普段（月～金曜日）、学校外で1時間以上勉強をする	70	58	63
普段（月～金曜日）、学校外で1時間以上読書をする	20	18	18
家で、自分で計画を立てて勉強をしている	76	37	31
課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる	38	31	30
自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している	32	23	24
話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる	45	33	33



(状況)

- 「普段、学校外で1日1時間以上勉強をする」「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した児童の割合は、全国平均よりも極めて高い。
- 「普段、学校外で1日1時間以上読書をする」と回答した児童の割合は、全国平均とほぼ同様（上位）である。
- 「主体的・対話的で深い学び」に関わる質問については、全ての項目で全国平均よりも極めて高い。

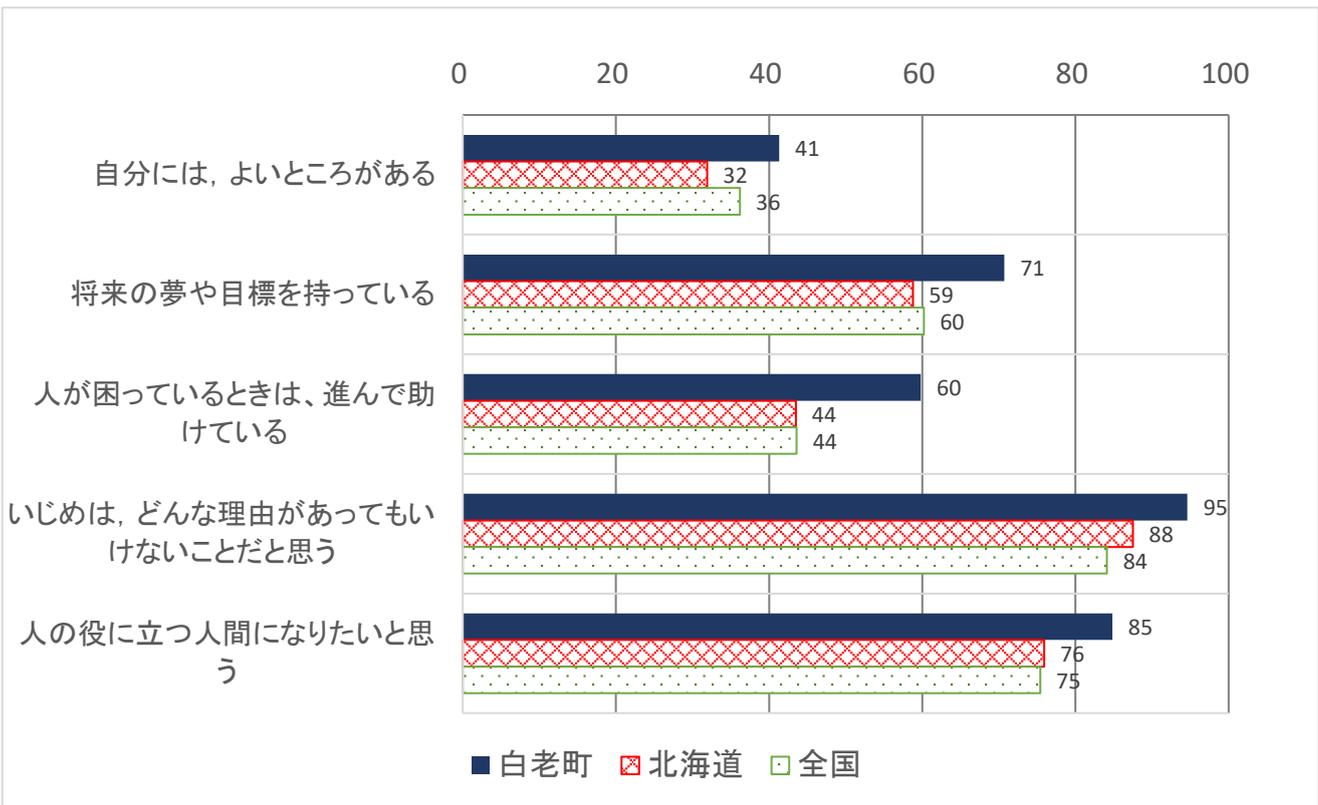
◆「学校外で1時間以上勉強している」「自分で計画を立てて勉強をしている」児童が多いことは、大変素晴らしいことです。計画的な学習が、学習内容をしっかり定着させることに直結するよう促していきます。

◆児童が主体的に学習に取り組み、話し合いを通して学習を深めていく授業への手応えが感じられます。引き続き秋田型授業をモデルとした授業改善を推進していきます。

◇ 小学校 自尊感情、将来に関する意識、規範意識 ◇

質問の内容

質問項目	白老町	北海道	全国
自分には、よいところがある	41	32	36
将来の夢や目標を持っている	71	59	60
人が困っているときは、進んで助けている	60	44	44
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	95	88	84
人の役に立つ人間になりたいと思う	85	76	75



(状況)

- ほぼ全ての項目で全国平均よりも極めて高い。
- 「自分には、よいところがある」と回答した児童の割合は、全国平均より高い。

◆将来の夢や目標をもっていたり、いじめを許さない心が育っていたりするなど、本町で取り組んでいる心の教育やキャリア教育などの成果が見られます。これからも主体的に関わり合い、自らの可能性を発揮し多様な他者と協働しながら、よりよい社会や幸福な人生を切り開いていくために必要な資質・能力を育成していきます。